

# 食品安全の向上の取組について

---

August 2015

**MAFF**

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

**JAPAN**

# 1. フードバリューチェーンにおける基本的な課題

## 世界の食品流通の状況

- ✓ 食料需要の拡大
- ✓ 食料の生産・製造・流通のグローバル化の一層の進展

→ 食品安全が世界共通の課題に



各国内において、

1. 食品の安全性の確保の取組
2. それを内外の取引先等に分かるよう示すことが必要。



- ・食料産業の成長、輸出の促進につながる。
- ・フードバリューチェーンにおける食品ロス  
の削減にもつながる。

## 2. 官民のそれぞれの役割

### ＜日本における取組＞

#### 官の役割

- 法による規制  
「食品安全基本法」  
「食品衛生法」  
「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」  
「と畜場法」
- 安全に係る基準等の国際調和
- ガイドライン等の作成

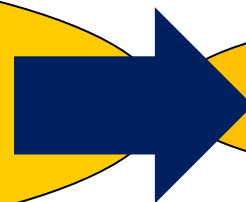
#### 食品事業者の役割

- 食品の生産・製造・流通过程での食品安全への効果的な取組
- 取引先監査や第三者認証による確認

#### 官民協働の取組

- 食品安全のための取組の標準化
- 教育ツールの開発

食品安全を向上させるためには、それぞれの地域性や文化に適した方法をとる必要がある。



Food Communication  
Project (FCP)

### 3. 食品安全の取組における提案

#### アジアにおける食料産業の特徴

- 多くの中小規模の食品事業者で成り立っている
- 温暖で湿潤な気候に影響を受けている
- 発酵食品の文化がある



両国の協力で、食品安全の向上を

加えて、  
フード・チェーンでの  
食品ロスの削減を目指す。

#### コミュニケーションから始めましょう！

- 食品安全の向上、食品ロス削減のために、何が必要なのか。
- 国内での食品安全規制をどう遵守させるか。
- 民間企業との連携の方法としてどんな方法があるか。
- 民間企業とのコラボレーションによって食品安全の向上を管理する可能性。
- 国際的な基準・認証との関係

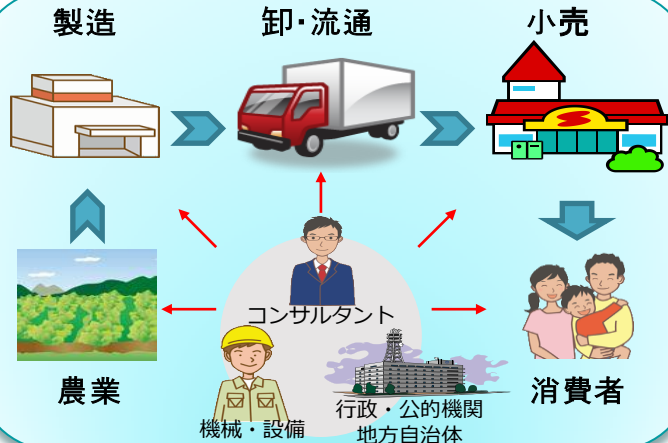
# 4. フード・コミュニケーション・プロジェクト

## フード・コミュニケーション・プロジェクト (Food Communication Project : FCP)

消費者の「食」に対する信頼を高めることを目的として、農林水産省が提供するプラットフォームの下に、食品関連事業者が主体的に食品の安全、消費者の信頼確保のための取組を進めるプロジェクト

### F C P 情報共有ネットワーク

食品関連事業者：1,736社/団体が参画  
(2015.4)



## 「協働の着眼点」の構成

### ベースとなる価値観と行動

1. お客様を起点とする企業姿勢の明確化
2. コンプライアンスの徹底

社内に関する コミュニケーション	取引先に関する コミュニケーション	お客様に関する コミュニケーション
<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 安全かつ適切な食品の提供をするための体制整備</li> <li>4. 調達における適正な取組</li> <li>5. 製造における適正な取組 保管・流通における適正な取組 調理・加工における適正な取組</li> <li>6. 販売における適正な取組</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 持続性のある関係のための体制整備</li> <li>8. 取引先との公正な取引</li> <li>9. 取引先との情報共有、協働</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>10. お客様とのコミュニケーションのための体制整備</li> <li>11. お客様からの情報の収集、管理及び対応</li> <li>12. お客様への情報提供</li> <li>13. 食育の推進</li> </ol>

### 緊急時に関するコミュニケーション

14. 緊急時を想定した自社体制の整備
15. 緊急時の自社と取引先との協力体制の整備
16. 緊急時のお客様とのコミュニケーション体制の整備

## 2015年の活動計画

### 目的:

食品安全の取組を向上させ、食料産業における消費者の信頼を高める

